

『怒りの葡萄』 <i>The Grapes of Wrath</i> 1940 年	執筆：清水 純子
制作国	アメリカ
スタッフ&キャスト (監督、脚本家、俳優、その他)	<p>スタッフ：監督ジョン・フォード/ 脚本ナナリー・ジョンソン/ 製作 ダリル・F・ザナック/ 音楽アルフレッド・ニューマン/ 撮影グレッグ・トーランド/ 編集 ロバート・L・シンプソン/</p> <p>キャスト：・ヘンリー・フォンダ：トム・ジョード (Tom Joad) / ジェーン・ダーウェル：トムの母 (Ma Joad) / ジョン・キャラダイン：ケイシー (Casy) / チャーリー・グレイプウィン：(Grandpa Joad) / ドリス・ボードン：(Rose-of-Sharon Rivers) / その他/</p>
画像	
カラー・モノクロ	モノクロ
時間	128 分
ストーリー	<p>1930年代の不況下、トム・ジョードは4年の刑務所生活を終えて仮出所してきたが、オクラホマの我が家は空っぽである。ダストボウル (Dust Bowl、1931年から1939年にかけて、アメリカ中西部の大平原地帯に発生した砂嵐、極端な耕地化をめざしたための人災) と機械化によって荒廃した農園を地主に追い出され、叔父の家に行ったという。叔父の家でトムは父母や兄弟と再会するが、ここも立ち退かねばならず、おんぼろトラックに一家全員が乗り込んで、ルート66を通り、砂漠を超えてカリフォルニアにたどり着く。砂塵を逃れた浮浪農民でカリフォルニアは満杯で仕事探しは難航する。地主の意のままに賃金をカットされ、抵抗すれば赤とみなされ指名手配になる。仲間の元説教師ケイシーは反抗分子として射殺された</p>

	ため、一緒にいたトムは再び殺人を犯し、深夜、母に別れを告げて逃亡する。残りのジョード一家は、ママ・ジョードの指揮のもとに逆境を乗り切る決意をあらたに壊れかけたトラックに乗り込む。
時代設定	1930年代
場所	オクラホマからカリフォルニアヘルート66経由で。
社会背景	世界的大恐慌、大規模機械化農業、ダストボウル（土地の荒廃による砂塵）のために、農地を放棄して流民になる農民が大量に出て社会問題化した。オクラホマの農民は荷馬車に乗ってオクラホマからカリフォルニアに移住したために、カリフォルニアは労働力過剰に陥る。
文化的背景	小作人である貧農は、追い詰められた状況の中でつぶれていく者、未来に夢を託して不屈の魂を発揮するものなどさまざま。
使用言語	英語
テーマ	ダストボウルや地主の搾取によって土地を追われ、流浪の民になりながらも希望を捨てずに前進する農民の逞しさ、農民搾取のからくり。
みどころ	1930年代はアメリカでも人権が確立しておらず、老人や乳飲み子が住んでいる家を家人の前で、トラクターの破壊によって立ち退きを強要する強引さ。真面目に懸命に働いてきた小作農が、地主や企業の強引な機械化によって土地を追われる理不尽、富の偏在に対する怒り。
印象深いせりふ	<p>TOM: Then it don't matter. Then I'll be all aroun' in the dark. I'll be ever'where- -wherever you look. Wherever there's a fight so hungry people can eat, I'll be there. Wherever there's a cop beatin' up a guy, I'll be there. I'll be in the way guys yell when they're mad--an' I'll be in the way kids laugh when they're hungry an' they know supper's ready. An' when our people eat the stuff they raise, an' live in the houses they build, why, I'll be there too.</p> <p>.....</p> <p>MA: (chuckling) I know. Maybe that makes us tough. Rich fellas come up an' they die, an' their kids ain't no good, an' they die out. But we keep a-comin'. We're the people that live. Can't nobody wipe us out. Can't nobody lick us. We'll go on forever, Pa. We're the people.</p>
授業教材用 メリット	ダストボウルによるオクラホマの小作農の苦境をリアルに描く濃密な人間ドラマ。自然と人間、神と人間のかかわりについて考えさせる。映画化によって有名な小説をヴィジュアルに楽しめる。

授業教材用 デメリット	映画だけ鑑賞して、原作を読まなくても十分わかった気分になって満足してしまう可能性あり。
映像入手元	20世紀フォックス・ホーム・エンターテイメント・ジャパン/ファーストトレーディング/
原作の有無	ジョン・スタインベックの同名の小説
支持反応	Rotten Tomatoes 評価（批評家 100 / 観客 88 ）
キーワード	大恐慌、機械化農業、ダストボウル（土地の荒廃による砂塵）、流民化した農民、不屈の魂、ルート66、オーキー（okie オクラホマ野郎という軽蔑語）、貧民キャンプ、キリスト教、出エジプト記、企業の搾取、富の偏在。

Copyright © Junko Shimizu All Rights Reserved.

★本サイトに掲載される情報の著作権は、清水純子に帰属します。

許可なく複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、販売、出版等を禁止します。